

す。日本語とはかなりちがうからこそ、英語独自の表現があって、その美しさがよくわかります。その美しさを知る人が少しでも多くなってほしい、英語の魅力を知ってほしい。その願いのため私は英語の良さ、面白さをいろいろな授業の仕方で伝えたいです。

千葉の魅力をもっとみんなに



萱田南小 賀久 みのり

私は、千葉県について教える先生になりたいです。千葉県は海産物、農産物に恵まれているだけでなく、工業、観光業も盛んな魅力あふれる県です。しかし、一般的には地味なイメージを持つ人も多いかもしれません。みんなで千葉の魅力をたくさん見つけて、好感度アップにつながれば、とてもやりがいのある仕事だと思います。AIが今後普及しても、教師という職業はAIに取って代わるののでない職業のひとつと言われていると思います。私もAIに負けないように、もっと千葉について知り、人に伝える力を身に付けたいと思います。



学ぶことの楽しさ



みどりが丘小 尾坂 悠

僕が先生になったら未来の子どもたちに学ぶことの意味やその楽しさを教えてあげたいです。特に教えてあげたいのは僕が得意な算数と理科です。僕は算数で分からない計算が分かった時、そして答えが分かった時にとても嬉しくなります。そのワクワクする気持ちを体験させてあげたいです。理科では、日常でいつも不思議に思っていることが分かったと、僕はまた一ついいことが知れたと思うし、面白く思います。そんな楽しい気持ちを教えてあげたいです。

貴方のりんごは何色？



八千代台東小 大西 陽奈子

みなさんは「りんご」と聞いて何色を思い浮かべますか。一般的には赤のイメージが強いですが、絵に常識は必要ないのです。黄色の光が当たっていればもちろん黄色に見えますし、作者の描いた世界に青いりんごが存在するのなら青だっておかしいことはありません。それに現実では想像できないようなもの・ことを表現できるのが絵の強みであると思います。私は絵には正解がなく、あなたの描くものこそが正解だということを伝えたいです。

リーダーとしての楽しさ



大和田中 水橋 蔵人

私が先生になったら、リーダーとして活動する楽しさを伝えたいです。自分が何かのリーダー活動をしていると、

「頑張ってるね」「大変だね」と言われることはあっても、「楽しんでいるね」と言われたことはありません。もちろん楽しいことばかりではありませんが、話し合いをうまく進めたり、イベントを成功させたりした時には、嬉しさと充実感でいっぱいになります。リーダーに挑戦する人をもっと増やすためにも、これまでのリーダーとしての楽しかった経験を、もっと多くの人に伝えていきたいです。

私が先生になったら



八千代台中 萩野 芽衣

私は最近、仲間と一緒に生み出す力の大きさを知りました。それは、一人ひとりの思いや努力が重なり合うことで、想像を超える結果や感動を生み出す力です。先日の体育祭で、たくさんの思いが重なり合い、想像を超える力が生まれ、その時、私は鳥肌が立つほど感動しました。自分ひとりでは決して味わえない感動も、仲間とだからこそ味わうことができると強く思います。だから私は、仲間と一緒に生み出す力の大きさを伝えたいです。

チームスポーツで伝えたいこと



村上東中 坂下 ホアン 龍

僕が先生になったら、チームスポーツの楽しさを伝えたいです。僕はサッカーのクラブチームに入っているのですが、そこでの活動や体育の授業でのチームスポーツを通じて、仲間の大切さを感じることができたからです。チームスポーツはとても上手な人が一人いても勝てず、チームの皆で声をかけ合い、互いに助け合うことでチームが強くなることができます。僕がチームスポーツの楽しさを教えるとしたら、生徒と一緒に汗をかきながら教えていきたいです。

料理の魅力を伝えたい！



東高津中 高橋 蒼真

僕は小学生の時からよく料理の手伝いをしていました。その時は、「大変だな」「面倒くさいな」と思っていました。でも、小学校6年生の時に、全部ひとりで料理をすることになり、とても不安でしたが料理をしていく中で、楽しさが分かりました。完成した時の嬉しさと達成感忘れられません。この気持ちをもっとたくさんの人に伝えたいので、僕が先生になったら調理実習専門の先生になると思います。きっと多くの人が料理は難しいからとあきらめていると思います。そんな人達に、料理の楽しさを伝えたいです。

達成感を伝えたい



村上中 中村 莉那

私が先生になれるとしたら、家庭科を伝えたいです。なぜなら、私は料理や裁縫が好きで、家庭科の授業が楽しいと感じるからです。家庭科は実技が多く、達成感を味わえる教科だと思います。苦手な人もいるかもしれませんが、家庭科はたくさん練習を積み重ねていけば絶対にできるようになります。なので諦めずに続けることと、できるようになった時の達成感を伝えることのできる先生になりたいです。

学びの扉を開き、未来を拓く



八千代高 吉野 ひなた

私が先生になったら「学ぶ楽しさ」を伝えたいです。なぜなら、学ぶことを楽しめれば、人生がより豊かになると思うからです。「学ぶ」というのは、好きなことを追求したり、新しいことに挑戦したりすることもさすと、私は思います。私は新たな発見をしたとき、学ぶ楽しさを感じます。たとえば解けなかった問題が解けたときや、新しい知識を得たときです。その瞬間、世界が広がったような感覚になります。学ぶことは新たな世界に通じる扉であり、その扉は多いほど良い。私は生徒にたくさんの扉を見つけ、可能性を広げる手助けができる先生になりたいです。

自分自身の見つけ方



八千代松陰高 加藤 桜大

僕が先生になったら生徒に伝えたいことは、自分を大切にすることです。SNSが普及した現代では、自分を他者と比べたり、自分自身をよく見せようとする人が多いと感じたからです。無理に周りと合わせすぎず、友だちと違う意見でも、ひとりで過ごしたいと思う時間があっても「大丈夫」と強く伝えたいです。こんな時、僕は空を見ながら好きな音楽を聴きます。これだけで、自分を見つめ直すことができ、心が整理されます。そして、自分を愛すときに一番大切なことは、自分の弱さを他者にさらけだせることだと、たくさんの人に知ってほしいと思いました。



熊の出没増加



勝田台小 萩原 正太郎

最近のニュースで気になっていることは、熊の出没が全国で増えていることです。人に危害が及んだり、農作物が食い荒らされたりして、深刻な問題となっています。その原因はさまざまですが、僕は2つのことに注目しています。1つめは、開発による森林伐採。2つめは、温暖化による異常気象などで、動物の食糧が減っていることです。人間の利益を優先せず自然との共存を見直すことが大切だと思います。

少子高齢化が不安



秀明八千代中 松井 ひなた

私は少子高齢化に不安を感じています。高齢者が増えて働ける人が減ると、年金や税金の負担が重くなり、皆が休む暇もなく働くようになると思います。朝晩の電車でも、疲れた表情の人が多く、社会全体に余裕がないと感じます。お年寄りを支えることは大切ですが、働く人の負担が大きすぎると社会が回らなくなるかもしれません。だからこそ、物価や税金が少しでも安くなり、誰もが安心して暮らせる社会になってほしいです。